
2006 年度 事業報告書

特定非営利活動法人
アントレプレナーシ
ップ開発センター

〒600-8815
京都市下京区中堂寺栗田町 93
TEL:075-315-9103
FAX:075-315-9134

事業概要

1 事業の成果と課題

設立趣旨に則り、基本活動をベースに、公的組織・企業などと協力・連携しながら、当初の予定どおりの活動をほぼ実施することができ、学校現場にアントレプレナー教員の普及・促進に努めることができた。

より多くの人の支援を獲得し、事業運営が行えた一方で、収支については、協賛金や申請した補助金などが当初予定どおりにはいかず、資金的に厳しい部分があったが、貯蓄資金を活用し、なんとか一年の事業を終えることができた。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	受益対象者の範囲 および人数
1. アントレプレナーシップ教育推進事業				
アントレ教育の学校への普及	(教育プログラムの活用方法や指導方法についてのフォローやコンサルティング)	随時	センター又は各学校現場	受講者約 3,000 名
Global Enterprise Challenge 2006	青少年の科学技術の関心を高めるために課題解決に挑戦する国際イベント	6月3日(国内大会) & 6月19-20日(国際大会)	国内大会:京都テルサ 国際大会:京都府立伏見工業高校	国際参加者全員で約 200 名
トレードフェア 2006 京都	企業経営教育プログラム参加生徒の発表会の企画・実施	11月18日	私のしごと館	小・中・高校・大学、企業人、保護者、教職員など約 600 名
産官学交流「京都 EDOS」会	教育の在り方に問題意識を持つ人々が集い、人づくり・まちづくりに積極的に関わっていくための研究・交流会。	3ヶ月に一度 6月30日、 9月29日 12月8日、 3月16日	ひと・まち交流館 京都	80 名
メールマガジンの発行	センター活動の報告・案内	毎月	メール	毎回約 1500 人
HP による広報	HP などに当センターの活動状況を随時報告	随時	HP	不特定多数
2. 起業家育成講座				
起業家育成講座 KCCI 創業塾第 8 期	地域活性化を目的とした、行政の起業家教育講座の企画・運営の受託業務	6月17日～7月22日	神戸市産業振興センター	受講生 22 名

3.アントレプレナーシップ教育推進事業				
指導者研修・講演等	起業家教育普及のための指導者研修会	随時	各学校にて	教員約1000名
4.調査・研究活動				
海外先進事例研究調査 (国際交流基金補助事業)	スコットランドとフィンランドのアントレ教育について調査訪問	4月2-7日、9月19-28日	フィンランド	10名(現地関係者含む)
大学との共同プロジェクト 京都教育大学	小・中のアントレ教育研究	4月1日～3月末日	関東などの学校訪問	約10名
5.その他事業				
公的機関の委員など	文科省の中教審や京都府の新規事業の委員会に出席	随時	各主催者の会場	
大学の講義など		随時	大学の講義室	100名

(2)その他事業なし

活動内容

■□アントレプレナー教育普及事業

1) 研究事業

●国際協力基金補助金事業：「アントレプレナー教育発展を目指す国際交流事業」

日時：平成 18 年 4 月 2 日(日)～4 月 7 日 (木) スコットランド・イギリス訪問

平成 18 年 8 月 19 日(土)～平成 18 年 8 月 28 日 (月) フィンランド訪問

内容：来年の国際セミナー開催に向けて、英国とフィンランドの専門家達と話し合いを進めてきた。両国ともにアントレプレナー教育を推進しているが、その基本概念、地域との連携、学校運営などには違いがある。学校や教員評価を進め市場原理を教育界に導入している英国に対し、学校間の学力到達の差がほとんどなく学校や教員を信頼して権限委譲を進めるフィンランド。両国から日本が学べることは大きい。国際セミナーは来年 9 月に開催予定。



小中学校ではかならず見られる技術家庭科の時間
ものづくりを大切にしている



EUの一員として他国と共同研究を進める校長
ノキアの中学校で

2) イベント

●Global Enterprise Challenge2006

青少年の科学技術への関心を高める目的で、スコットランドの行政機関 Career Scotland が主催する 18 歳以下の青少年対象の国際イベント。今年 15 カ国が参加し、日本代表として国内予選を勝ち抜いた京都市立伏見工業高等学校、産業デザイン学科の生徒さんが挑戦。

<国内予選>

日時：平成 18 年 6 月 3 日 (土)

【ミッション】天災時に役立つ防災商品を開発せよ



起業家と一緒にチャレンジ！ 社長も大変！



3分のプレゼンにまとめます

<国際大会>

日時：平成 18 年 6 月 19 日（月）&20 日（火）

【ミッション】温室効果ガスを減らし、かつ、今後 10 年間で経済を活性化するあなたの都市向けの事業計画書を用意せよ



24 時間ミッションですが、時間はあっという間にすぎます。最後は英語でプレゼン。

●第 6 回バーチャル・カンパニー トレードフェア 2006 京都～私たちが創る未来の仕事～

日 時：平成 18 年 11 月 19 日（土）9:30～17:00

場 所：私のしごと館（関西文化学術研究都市）

主 催：トレードフェア実行委員会

事務局：特定非営利活動法人アントレプレナーシップ開発センター

内 容：国内外の小学生～大学生 38 チームが、日頃の取り組みの成果を発表すべく、京都に一斉に集まりました。当日は、生徒の展示ブースにより販売活動やビジネスプレゼンだけでなく、指導者向けの実践事例紹介や、地域とうまく連携したコミュニティスクールの中での取り組み、卒業生による意見交換会、学生と企業人との交流セッションなども実施しました。最後は大人も学生も一緒に懇親会でご苦勞様となりました。香港からのチームも喜んで帰国しました。英語プレゼンには高校生チームが大学生をやぶって入賞。来年香港でのイベントに参加します。



女子高生と喜んで会話する大学生。



商品は簡単には売れません。



英語のプレゼンに挑戦！



大人達も熱心に勉強しました。



入賞チームで記念写真



香港チームもがんばりました。

2) 指導者研修会

バーチャル・カンパニー体験ワークショップ

社会の課題を解決する新しい商品を企画し、ネット上で電子商取引を行う中で、ビジネス知識や職業観を育てる仮想企業経営プログラム「バーチャル・カンパニー」の体験ワークショップ。

- 日時：2006年5月19日（金） 15:00-17:00
- 日時：2006年7月28日（金） 14:00-16:00
- 日時：2007年3月27日（火） 14:00-16:30



■□産官学交流「京都 EDOS（えーどす）」会

教育の在り方に問題意識を持つ教員・学生・社会人が産官学の枠を飛び越えて集い、人づくり・まちづくりに積極的にアントレプレナーシップを発揮して関っていくための研究・交流会。

●産官学交流会「京都 EDOS 会」(第 10 回)

～人にやさしい環境づくりをめざして～

日時：平成 17 年 12 月 16 日（金） 18:00-21:00

<プログラム>

18:00-19:20 「市民・地域主導型の政策づくりに向けて」

講師：NPO 法人機構ネットワーク 事務局長/理事 田浦健朗氏

19:00-20:10 「地域環境と住まいについて」

講師：NPO 法人古材文化の会 事務局次長/理事 白石秀知氏

20:10-21:00 交流会

田浦氏には、地球温暖化の仕組みや東京都、京都市の省エネの取組みについて、また、全国ネットワークを組織化し、実際に取組んでいる活動についてご紹介いただきました。大量生産、大量消費、大量廃棄社会からの脱却、自然エネルギーの普及により脱温暖化社会をつくり、持続可能な社会にしてゆくことが大切だということを考えさせられました。

白石氏からは、持続可能な循環型生活をするために取り組んでこられた古木を使った木造建築普及の事業内容や、今後の課題などについてご紹介いただきました。日本人の“木の文化”を大切に、私達は恵まれた森林資源と先人の知恵を次の世代へと受け継がなければいけません。

学校現場でも、環境教育は盛んですが、牛乳パックのリサイクルで終わっているようでは、この持続可能な循環型社会について積極的な市民としての責任を考えるとところまではいきません。今後の課題です。



●産官学交流会「京都 EDOS 会」(第 11 回)

～社会起業家が発信するまちづくり～

日時：平成 17 年 12 月 16 日 (金) 18:30-20:30

<プログラム>

18:30-19:10 「地域に開かれた文化コミュニティの発信」

講師：株式会社如月社 代表取締役 神谷雅子氏

19:15-19:55 「社会起業家が創り出す社会」

講師：京都文教大学 人間学部現代社会学科 教授/

京都ソーシャルアントレプレナーネットワーク会長 川本卓史氏

20:10-20:30 交流会

神谷氏は、旧朝日シネマ会館の支配人で、シネコンブームによる相次ぐ老舗映画館閉館の中、映画館の本来あるべき姿を失ってはならないと、京都シネマ (COCON 烏丸入居) を設立されました。館では、教育現場としての映画館の活用を提案し、学生インターンシップの受け入れや、メディアリテラシー教育を行っていらっしゃいます。また、京都ならではの“おもてなし”の心を大切に、きめ細かいサービスや空間造りを行い、いまや多くの映画ファンに支持されています。

川本氏は、東京銀行の社員として長年海外勤務の経験をお持ちの国際人で、現地での社会貢献活動を通じて、企業の地域貢献のあり方や NPO 活動、教育の大切さなどを認識するようになったとのこと。現在は大学教授として、ソーシャルアントレプレナーの研究を行っていらっしゃいます。日本の社会起業家達の例をとりあげ、より多くの社会起業家誕生のための秘訣、ネットワークの構築手法や、日米文化の比較等についてお話していただきました。

日本では、文化振興や教育支援など様々な非営利活動が市民レベルで立ち上がっていますが、それらを地域で応援するシステムや企業の社会貢献のあり方などは、まだまだ発展途上。その難しさや、日本人がうしなってしまった“たにまち”精神など、話はつきませんでした。



●産官学交流会「京都 EDOS 会」(第 12 回)

～キャリア教育?何をすれば良いのか～

日時：平成 18 年 12 月 8 日 (金) 18:30-20:30

<プログラム>

18:30-19:30 「会社が欲しい人・自立して伸びる人-

職業人として自立するため学校ですべきこと」

講師：松下電器産業株式会社

ニューキャリアサポートセンター 部長 岩崎正紘氏

19:30-20:30 交流会

“ものを創る前に人をつくる”という会社の教えをもとに、人づくりとは何か、これから世界を相手に日本人には何が必要か、次代を担う若者育成について、お話を伺いました。また、教員の方々への良きアドバイスを頂きました。



●産官学交流会「京都 EDOS 会」(第 13 回)
～経験がキャリアにつながるために必要なこと～

日時：平成 19 年 3 月 16 日 (金) 18:30-20:45

場所：ひとまち交流館 3F 第三会議室 075-354-8711

<プログラム>

18:30-19:30 「経営課題と人材育成：学校教育に望むこと (仮)」

職業人として自立するため学校ですべきこと」

講師：杉山佳代子 (ビジネス・ブレイクスルー 法人営業本部長)

19:30-20:30 交流会

大前研一氏の経営するマネジメント教育会社が提供する問題解決型研修事業を通じて、新人～トップ経営者まで多くの企業人に接しておられる杉山氏から、今の日本に求められている人材について、また、その育成について事例を交えながらお話いただきました。



■□研究・受託事業

●仙台市立太白小学校公開研究会：「本気の学び」を創る太白の子供 (2006 年 10 月 13 日)

基調講演：「大人の課題、子供の課題、地域の課題」-原田紀久子

実践紹介：仙台市立太白小学校、気仙沼市立小原木中学校

●京都府立高等学校進路指導研究協議会講演 (2006 年 8 月 10 日)

●大分県白杵市小・中学校教育研究会講演

「子供の自立、大人の自立、地域の自立」(2006 年 8 月 2 日)

●静岡県総合教育センター主催「新商品デザイン」教員研修会講演

「アントレプレナーシップとそれを育成するための教育活動」(2006 年 7 月 26 日)

●追手門学院大学「特色ある教育研究」推進講演会講師

「起業家教育と地域経済の活性化」(2006 年 7 月 4 日)

●亀岡コミュニティビジネス創業塾：女性起業セミナーカフェ講師 (2006 年 6 月 29 日)

●起業家育成講座 KCCI (神戸商工会議所) 創業塾第 8 期

日程：平成 18 年 6 月 17 日 (土) ～7 月 22 日 (土) 計 6 回コース

今回はファッションをテーマに起業体験。



■□2006年度プレスリリース

当センターが支援している学校の取組みが新聞で紹介されました。

※記事の内容は、当センターHP の下記のページからご覧ください。

<http://www.entreplanet.org/frames/Fpress2.html>

- * 「天災に役立つ防災グッズを」京滋の高校生ら起業チャレンジ
(2006年6月4日 京都新聞)
- * 「伏工チーム ネットで知恵競う」科学技術の国際大会 (2006年6月22日 京都新聞)
- * 「多様な社会の課題解決策授業で探る」学校の事例報告募る (2006年8月11日 京都新聞)
- * 「地元企業と商品開発」来月、京都で見本市 先輩に続くV狙う (2006年10月17日 上毛新聞)
- * 「高校生がアイデア対決:学習成果試す場次々「基礎体力」作り」
(2006年10月23日 日本経済新聞社)
- * 「仮想起業立ち上げ子らの取り組み紹介」 (2006年10月29日 京都新聞)
- * 「中学生、自作品で起業」使い捨てないカイロ、ハーブせっけん 修学院中商店街に41店
(2006年10月29日 毎日新聞)
- * 「アイデア商品セール」小中高、大学生 起業家精神を発揮 (2006年11月20日 京都新聞)
- * 「大学生の発想 商品化“ネット商店”からブランド」 (2007年1月7日 読売新聞)
- * 「児童ら元気商品アイデア発表 東山・白川小、企業の開発拠点で」
(2007年3月1日 京都新聞)

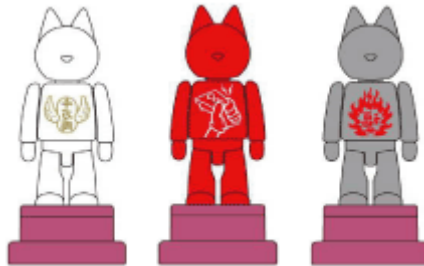
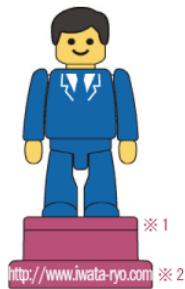
■□その他

バーチャル・カンパニーに参加する以下の学校のアイデアが商品化されました。

- 同志社女子大学情報メディア学科の学生がバーチャル・カンパニーを活用した「eコマース研究Ⅰ,Ⅱ」の授業で株式会社岩田良と連携し、新商品 Kompa が発売されました。
(以下、<http://www.dwc.doshisha.ac.jp/topics/topic3.html> より抜粋)



株式会社 岩田良ホームページ <http://www.iwata-ryo.com/new/3-06081.htm>



..

- 京都市立伏見工業高等学校産業デザイン科の生徒さんが伏見商店街（稲荷繁栄会）と連携して取り組んでこられた「伏見～る人形」が3年越しの取り組みで9月に商品化されました。
商店街で購入できます。



布袋さん



宝珠抱き童子



饅頭喰い



福助

- 共愛学園前橋国際大学のバーチャル・カンパニーを活用する学生グループが、大黒食品工業株式会社（佐波郡玉村町）と連携し、「冷やしシリーズ」の商品開発をしました。群馬県内のスーパー等で今年3月1日より発売しています。

